

相馬福島道路(霊山道路)  
りょうぜん

東北学院大学工学部環境建設工学科3年生80名が  
トンネルと橋梁の工事現場を見学します

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。  
この度、東北学院大学工学部環境建設工学科の学生の皆様によるトンネルと橋梁の  
現場見学会を開催し、土木技術を学んでいただきます。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）  
であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけ  
られています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には  
緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

1. 日 時 : 平成27年9月26日(土)
2. 見学場所 : 庄司湊トンネル及び月舘高架橋  
庄司湊トンネル : 14:20~15:50(予定)  
福島県伊達市霊山町石田地内 【別紙1参照】  
月舘高架橋 : 16:00~16:30(予定)  
福島県伊達市月舘町御代田地内 【別紙2参照】
3. 参加者 : 東北学院大学工学部環境建設工学科3年生 約80名
4. その他 : 取材を希望される方は、見学開始時間までに現場へお越し下さい。  
※雨天でも開催します。

【発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所	電話 024-546-4331(代)
副 所 長 <small>あか さか</small> 赤 坂	浩 (内線205)
工務第二課長 <small>おやまだ</small> 小山田	桂夫(内線411)

【現場位置図】



【庄司測トンネル案内図】



# 【月館高架橋案内図】

至  
福島市



至  
相馬市



# 【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙3

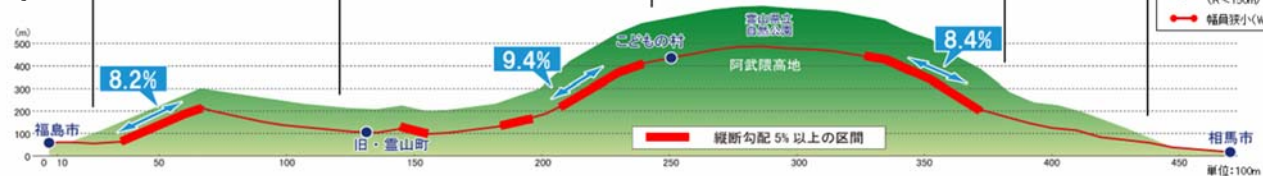
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



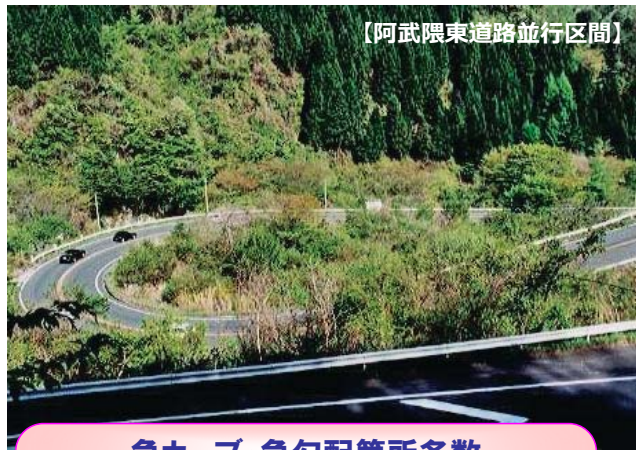
## 国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

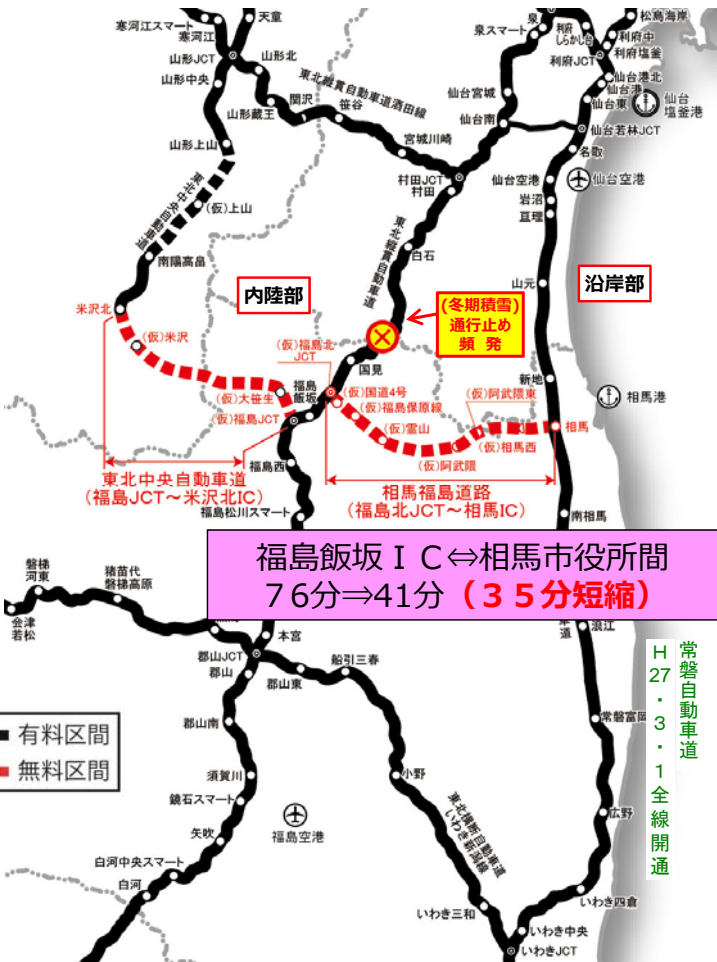


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

# メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

# メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



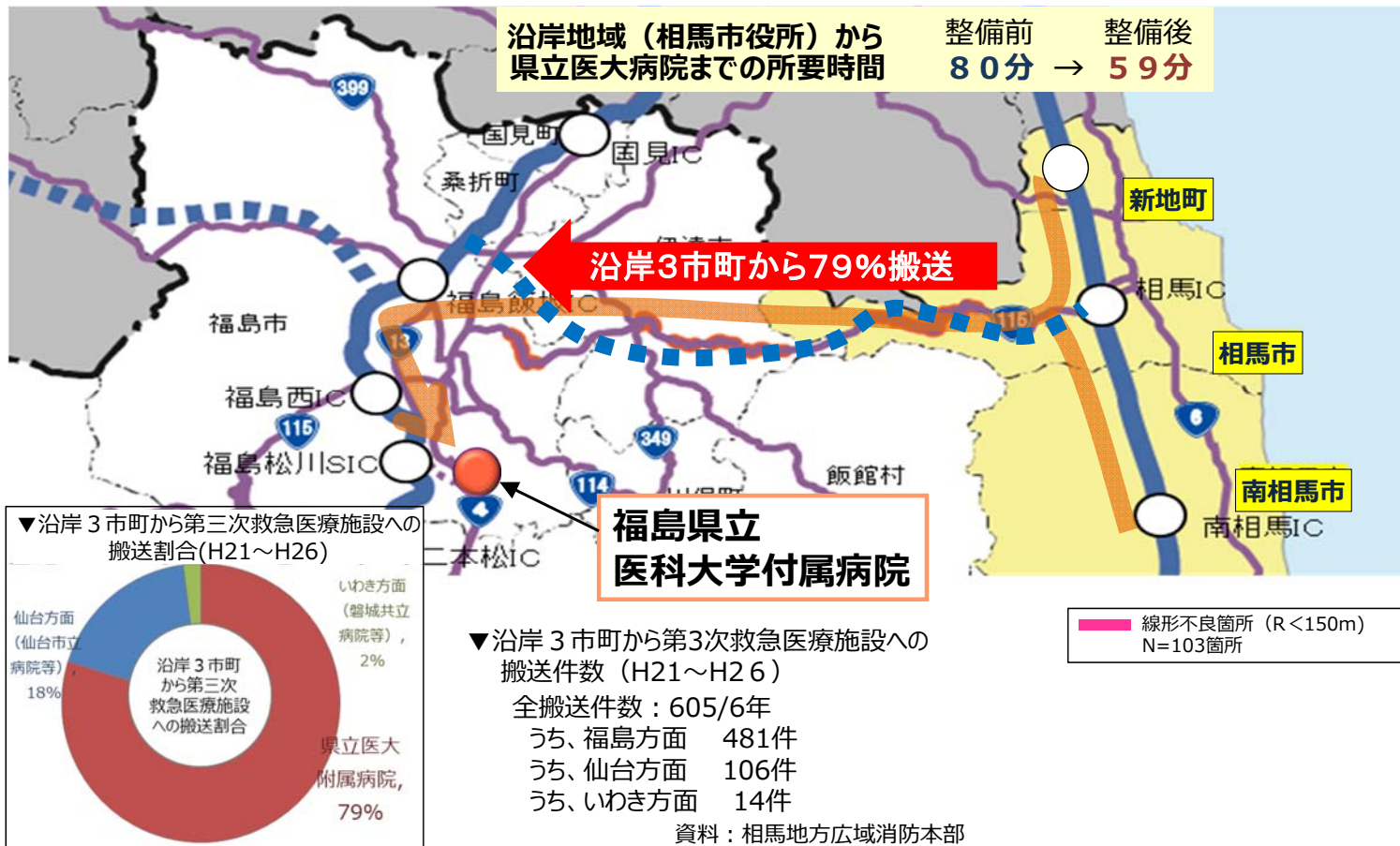
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- △ 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- × 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

## メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



## メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

### 《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t  
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港